

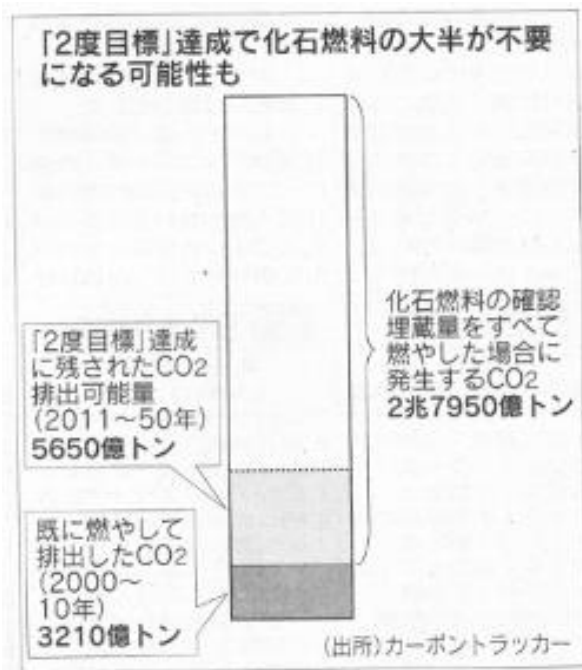
エネルギー問題は何を議論すべきか？

2016年6月1日

3.11以降私たちはどのようなエネルギーを使うべきか、
また将来に向け、今どのような電源構成が必要か

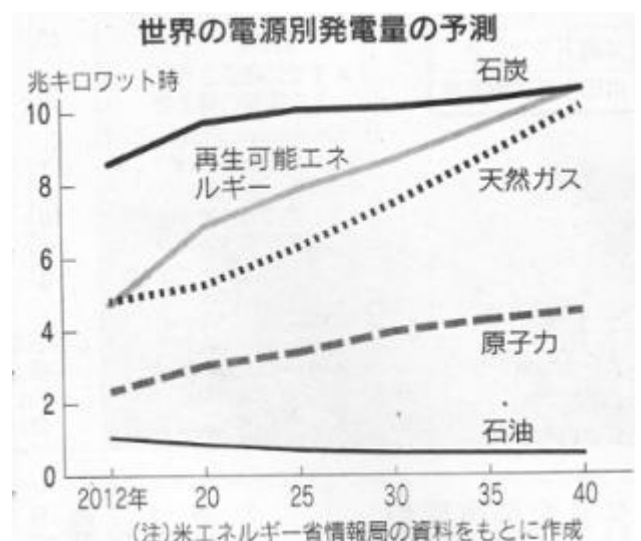
温暖化

石炭回避の動きが堺で広まっています。「カーボントラッカー」は2011年11月、21世紀末までの世界の平均気温上昇を工業化以前に比べ2°C未満に抑える「2°C目標」を達成するには、CO₂はあと5652億トしか排出できないとの試算を発表しました。



(2016.5.27 日経朝刊により)

21世紀に入って脱石油を強く後押ししたのは地球温暖化への危機感です。



(2016.5.29 日経朝刊より)

電力

関西電力は相生発電所の1号機で火力発電の燃料を重油・原油だけでなく、天然ガスもス変えるようにして運転を始めたと発表しました。3号機についても8月から切り替える予定です。コストはkWh当たり約1/2になるそうです。

(2016.5.3 日経朝刊より)

4月1日に家庭向けの電力小売りが自由化されたのを受け、大手電力からの契約切り替えが4月末までに81万9500件(全国の1.3%の相当)に上りました。

(2016.5.11 日経朝刊より)

東京ガスは今秋から家電の販売（冷蔵庫や洗濯機など大型商品を約200店ある系列のガス器具販売店で扱います。）を本格的に始めます。



(2016.5.21 日経朝刊より)

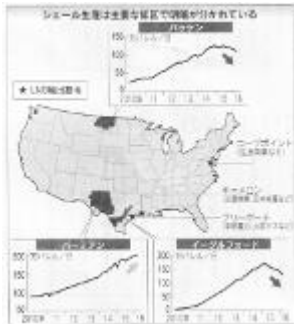
世界最大級の埋蔵量を誇る原油と天然ガスの輸出をテコに権勢を振ってきたロシアのプーチン政権を原油安が直撃しました。



(2016.5.15 日経朝刊より)

天然ガス

シェール革命。困難とされた頁岩からの原油・天然ガスの生産が可能になり、米国は原油を輸入に頼る国から一転して世界最大級の生産国になりました。世界のエネルギー勢力図を変えた米シェール。ですが、長引く原油安で激しい試練に直面しています。革命は続くのでしょうか。



(2016.5.1 日経朝刊より)

米国からシェールガスでつくる LNG の輸出が始まりました。2月に試験出荷を開始したルイジアナ州の基地に続き、2017~18年にほかの4基地が生産を始める計画で「米国は LNG 市場における主要なプレーヤーにある」と述べられています。



(2016.5.4 日経朝刊より)

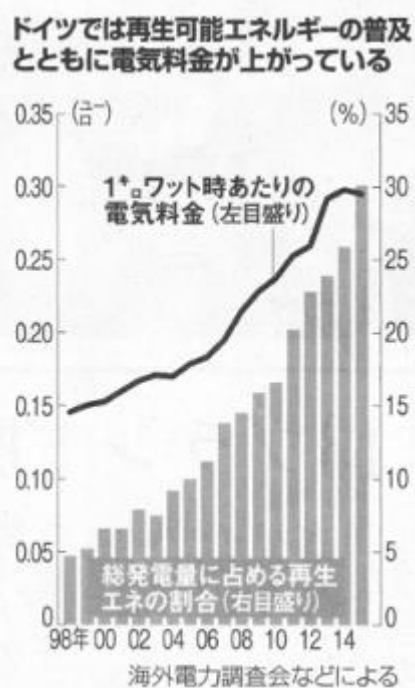
カスピ海産の天然ガスをロシアを経由せずに大市場の欧州に輸出するパイプラインが2020年にも完成します。



(2016.5.19 日経朝刊より)

再エネ

ドイツには1千もの電力会社があり、大手を含め、多くが「再生エネ」の料金プランを作っています。



(2016.5.18 朝日朝刊より)

産業ガス大手のエア・ウォーターは2020年をめどに福島県で国内最大級の出力があるバイオマス発電所を稼働します。

代表企業 (場所)	発電出力 (キロワット)	稼働時期
エア・ウォーター (福島県いわき市)	7万5千	2020年
住友商事 (愛知県半田市)	7万5千	2017年
イーレックス (福岡県豊前市)	7万5千	2018年
住友林業 (北海道紋別市)	5万	2016年
住友商事 (山形県酒田市)	5万	2018年
イーレックス (大分県佐伯市)	5万	2016年
昭和シェル石油 (川崎市)	4万9千	15年11月

(2016.5.19 日経朝刊より)

三菱商事は2019年度の稼働を目指し、秋田県に風力発電所を新設します。再生可能エネルギーの発

電事業の軸を風力と地熱に移し、安定的な収益を稼げる電力事業の事業基盤を拡充します。

名称 (場所)	出力規模 (キロワット)	事業者
ユーラス新出雲ウインドファーム (島根県出雲市)	7万8000	ユーラスエナジーHD
郡山布引高原風力発電所 (福島県郡山市)	6万5980	Jパワー
ユーラス宗谷岬ウインドファーム (北海道稚内市)	5万7000	ユーラスエナジーHD
ユーラス由利高原ウインドファーム (秋田県由利本荘市)	5万1000	ユーラスエナジーHD
長島風力発電所 (鹿児島県長島町)	5万400	九州電力

(2016.5.20 日経朝刊より)

住友林業は再生可能エネルギー事業を強化します。風力・地熱発電事業に参入するほか、すでに展開している木質バイオマス発電所も増やします。

環境ベンチャーに出資し、再生可能エネ発電所を拡大

〔向こう3年間の事業着手イメージ〕

国内 (候補地調査中)	
風力	1~2カ所
地熱	1カ所 (調査で可否検討)
バイオマス	公表済みの3カ所のほか1~2カ所
海外 (インドネシアなど)	
バイオマス	1カ所

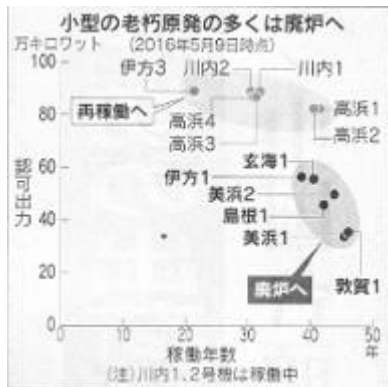
(2016.5.26 日経朝刊より)

洗陽電機は発電効率の高い小規模バイオマス発電システムを開発しました。

(2016.5.31 日経朝刊より)

原 発

四国電力は伊方原子力発電所 1 号機を廃炉にしました。一方 3 号機は 7 月下旬にも再稼働する見通しです。電力会社が採算性を厳しく見極めながら、原発の存続を判断する姿勢が鮮明になっています。



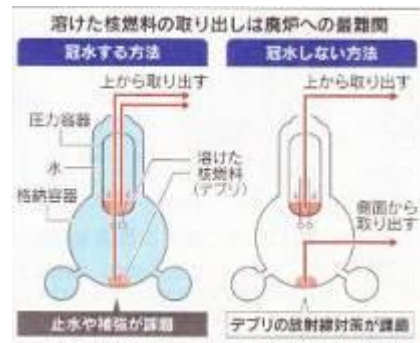
(2016. 5. 10 日経朝刊より)

原発と司法、海図なき航路、福島事故で脱「消極主義」？



(2016. 5. 16 日経朝刊より)

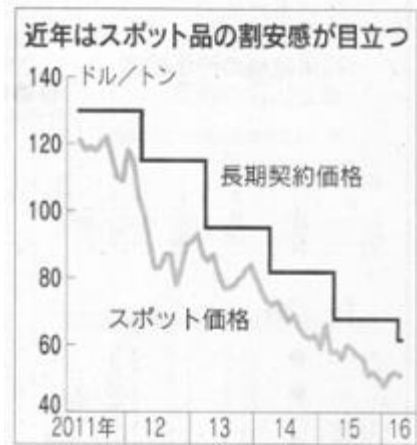
東京電力福島第一原子力発電所の事故で溶け落ちたデブリの取り出しに向け、政府は今秋にも、技術実証のための大型実験に着手します。



(2016. 5. 21 日経夕刊より)

そ の 他

発電に使う石炭の取引で、価格が需要で動きやすいスポット品の存在感が増しています。



(2016. 5. 19 日経朝刊より)

排出量が多い石炭火力の新設計画に異論を唱えてきた環境省は、電力業界の自主的な対策を条件 (CO2 削減策を毎年公表などの条件) に容認へ転じる方針を占めました。

(2016. 5. 28 朝日・日経朝刊より)